

学校だより

1月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和四年 一月十一日



新年あけましておめでとうございます。今年も白金小の子供たちのために、白金小を日本一の学校にするために、教職員一同、全力で教育活動を進めてまいります。地域の皆様、保護者の皆様、引き続き御理解ご協力をお願いいたします。

校長 吉野 達雄

皆様、お正月はどのようにお過ごしになりましたか。私は子供の頃、近所の土手で凧揚げをして遊んでいました。駄菓子屋で八十円の凧を買い、新聞紙で作ったしっぽを付けました。しっぽの太さや長さ、骨のしなり具合を調整することで上手く揚がるかが決まりました。またペーゴマもよくやりました。ペーゴマをやすりで削って自分なりのコマに仕上げるのに夢中でした。そんな遊びの中で、試行錯誤しながら工夫を重ねる大切さを学んだと思います。昔遊びはシンプルなものが多いですが、やってみると奥深いものです。自分なりの創意工夫ができ、探求心を鍛えるよい経験だったと思います。今は凧揚げやコマ回しなどの昔ながらのお正月遊びをする子供たちは少なくなりましたが、たまにはご家族で挑戦してみたいかがですか。

【人生を豊かにするコミュニケーション】

一月二十八日に全国小学校英語教育実践研究会の全国発表会を本校で開催します。今、多くの小学校で英語教育を工夫しながら取り組んでいます。また最近の小学生の習い事でも英語は定番のようです。しかし、言語習得は大切ですが、それ以上にコミュニケーション能力が重要です。自分の思いを伝えたい、相手の思いを知りたいと考えることが良好な人間関係の礎であり、人生を豊かにします。また、思ったことを相手に伝えるようにしっかりと話すことも大切です。そのために日頃から多くの人とつながり、会話することを心がけましょう。家庭では子供たちの話を聞いてあげてください。話を聞いてもらえることで子供は人とつながることに喜びを感じ、話が上手くなっていきます。

【一年の計は元旦にあり】しっかりと目標をもち、充実した生活を過ごしましょう。

～ 白金小 合言葉 ～ 「自分をみつめまわりもみつめ

人を生かし自分も生かしめあてをもつて努力を続ける」

全国小学校英語教育実践研究会「国際科」白金小学校の成果

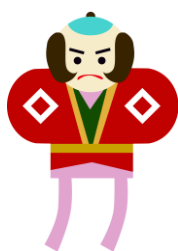
研究主任 間宮 多恵

研究主題を【相手意識をもって主体的に伝え合うことのできる児童の育成】として、取り組んできた今年度の研究成果を全国の先生方に発信します。

二期には、一年生、二年生、三年生が「研究授業」を行いました。授業の流れの中に「白金スタイル」(それぞれの発達段階に応じた会話練習や会話活動)を組み込み、楽しく英語でコミュニケーションをする学習を展開しました。どの学年でも「話す、聞く」ことはもちろん「書く」活動、そして高学年では「読む」活動もあり、バランスよく英語の力を付けています。低学年からタブレットを活用しながら、しっかりと相手意識をもって会話をする姿が印象的でした。子供たちはたくさん発話練習をし、自信をもって友達と英語で話しています。

さらに、白金小学校では、金曜日をEnglish Dayとする取組もしています。いろいろな場面で英語を話すことに挑戦する日です。朝の会、授業のあいさつ、帰りの会などを英語でやっています。日常生活の中でのちよつとした一言を英語で言ってみようという意識が育っています。すれ違う際に、See you!とさわやかにあいさつしていく子、How do you say in English?英語はNTに聞いている子、図工の時間にHow many?と聞きながら必要な色紙を渡す先生、そしてそれに英語で答える子。「学習したことを活用する」姿が見られます。English Roomも休み時間に交代で決められた学年に開放しており、NTの先生と会話をしたり、英語のカードゲームを楽しんだりしています。

国際科の授業はもちろん、それを超えて、英語でのコミュニケーションを楽しむ児童が増えていることが大きな成果です。



白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。